



由利本荘

市民の窓口

会派「市民の窓口」 市政と市民の橋渡し会報



2021 年 10 月の市議会議員選挙で市民の皆様より選出された新人議員、大友孝徳、松本学の 2 人で立ち上げた、常に市民の代弁者たる会派「市民の窓口」です。

会派の理念

- 1 常に市民の目線に立ち、協働して、由利本荘市を「みんなでつくるみんなのまちに」をテーマに、市政の可視化、議会の活性化に向けて行動します。
- 2 私たちは 1 人の自立した議員として、各自の問題意識に基づいて自由な調査・研究・論議を通じて問題解決を目指します。
- 3 様々な決議に対し会派拘束は行わず常に是々非々で各自の責任で判断します。

2024 年度の活動報告

「ザ選挙ワークショップ」

市議会議員 1 期目最後の会派企画、市民との交流会のテーマは「選挙」。会の活動理念でもある「みんなでつくるみんなの町に」の実現を目指す中で、市政を自分ごととしてより身近に感じていただく為の第一歩を「選挙」への参加と定め、そもそも選挙が何なのか、誰がどんな想いで立候補するのか、選挙で勝つとは、負けるとは、実際の選挙活動のリアルな作戦、立ち回りとは、どのような基準で誰に投票したらいいのか、未来の選挙はどうなる？など様々な視点から「選挙」を紐解き、興味を持ってもらう。そして自分の候補者選びの参考にしてもらう、又は自分が、自分の仲間が、立候補者となるきっかけに。そんな想いのもと、まさに今年 2025 年が選挙 year の本市にぴったりの企画を「ザ選挙ワークショップ」と題し、文化交流館カダレを会場に行いました。

今回は「市長の仕事」そして「市議会議員の仕事」市政と市議会の関係性等、市政の運営の仕組みを共に学び、これからの選挙の在り方から由利本荘市のより善い未来を描くというイメージを共有する事ができました。ご参加いただいた皆様誠に有り難うございました。



出張！「市民の窓口」講座

ご依頼お待ちしております

会派市民の窓口では、「市政について」「市議会について」「選挙について」など会派の活動報告も含め、由利本荘市内のどこにでも出張講座に伺わせていただいております。仲間同士の集まり、町内会、各団体の集会などのひと時には是非一緒に由利本荘市の未来について語り合いましょう。

会派「市民の窓口」公式ホームページ

会派「市民の窓口」では、市民の皆様のご困り事や、疑問、希望要望、またはまちづくりの様々なアイデアなどを常に共有したいと願っております。是非皆様の“想い”を私達にも聞かせてください。



議会活動報告

議会での一般質問の内容や、常任委員会での取り組みなど、各自が取り組んでいることをお伝えします。

大友 孝徳（おおとも たかのり）（会派「市民の窓口」会長）

1962 年 旧大内村高尾生まれの 62 歳。

本荘高校卒業後上京しアパレル業界へ。32 歳で独立しアパレル企画会社設立。大手商社のブレンとして 20 の国と地域に 300 回以上渡航し、世界とのビジネスに没頭する。2017 年に帰郷し「大友商店」設立。

現在は本荘駅前市場で「自由食堂」を経営しながら「子ども食堂」を運営。

「有言実行」で「由利本荘市をみんなでつくる、みんなのまちに！」。



37 年ぶりに由利本荘市に帰り、目の当たりにした「故郷の衰退」を打破すべく活動を開始し、2021 年 10 月の初当選後、新人ながらも是々非々をモットーに「会派:市民の窓口」を結成してから早いもので 4 年目。昨年度は 7 月豪雨災害からの復興を優先させながら「活力溢れるまちづくり」を目指し、仲間と共に活動して参りました。

2024 年 12 月議会 本市の南北を貫く『北由利断層地震』による被害予測「震度 7、死者 748 人、負傷者 3,551 人、建物全壊 12,014 棟」を広報に掲載し、防災意識の向上に資するよう提案し、2025 年 1 月 15 日号 2 ページに掲載。

2025 年 3 月議会 このまちの未来を担う子どもたちの安心安全のために、統合本荘東小学校の放課後学童保育施設を、校舎敷内設置へ見直すよう要求。

今年度は未だ道半ばの「環鳥海山観光振興としての県境見直し」「本荘駅前商店街協同組合としての駅前振興」「若者を中心に市民の皆様楽しんでいただくイベントの開催」などを仲間と力を合わせながら、引き続き全力で進めて参ります。



松本 学（マツモト マナブ）（会派「市民の窓口」幹事長）

昭和 54 年、旧本荘市石脇生まれの 45 歳。

音楽に出会い、鳥海山に出会い、自分の好きなことを貫いてきた。結婚し、子供が生まれ、自分という幹に枝葉ができ、まちのこと、人のこと、子供の未来のことを考えたとき、これから自分がすべきことが見えてきた。妻と娘と妻の両親と 5 人で西目に暮らす。

令和 6 年度を振り返れば、湊市政 1 期目の最終年度であり、湊市長にとっては一区切りの集大成の年、コロナ禍の対応に始まり、やっと落ち着いて自身の想いを形にしていこうという中での豪雨災害、市長の政治信条である「市民生活がいちばん」という言葉以上に、リアルに目の前の日常を取り戻す事で精一杯、という、非常に難しい市政運営の中、市当局、そして議会が、国の方針や、待ったなしの現実には翻弄されながらも“復興”に向け、いつも以上に力を合わせ一緒に歩みを進めた年だったのではないのでしょうか。

私の所属する「産業建設常任委員会」では、家屋、道路、農地、山林の豪雨災害の復興への対応をめぐり、各地域ごとにそれぞれに違う課題をいかに乗り越えていくか、本当にこの手法が最善なのか、順番は適切か、もっと今出来る事があるのではないかと、ただ一つ「市のため市民のため」という同じ目的の元、市当局と議会という立場で様々に議論させていただきましたし、それは現在も続いています。

私の地元である西目には西目特有の課題、他の地域にはまた別の課題、これらをいかに一括りにせず、それぞれに最善を目指せるかはやはり地元の議員次第という場面も多々あり、地元のことをもっと知りたい、知らなければならないという使命を改めて確認するきっかけにもなりました。

本市は今、平成の大合併より 1 市 7 町が一つになってから 20 周年の節目を迎え、この大きな苦難を乗り越え「由利本荘市」として新たな時代の入り口に立っています。市議会議員として、市民の代表としてその役割をしっかりと果たすべく「みんなでつくるみんなの町に」のスローガンを胸に、皆様と共に様々な活動に取り組んでまいります。



7 月豪雨での西目地域の被害状況



4 月 20 日 人手不足の吉沢神社例祭に参加



「ゆりほんフェス」の宣伝で FM 秋田に出演



7 月 31 日災害ボランティア活動



10 月 26 日 羽後本荘駅前ハロウィン



西目若松町お祭り



鳥海山破川の山開き



10 月 12 日ボランティア活動



鳥海高原花立でルピナスの植栽



由利本荘アウトドアフェス



2025 年 1 月 しごとーい